

県民に親しまれる魅力ある博物館づくりを目指して (NO・2)

館長 銭場 正人

歴史と民俗の博物館長としての1年が無事に終わり、2年目に入りました。この1年は長いようでいて、あっという間に過ぎてしまった気がします。

私にとっては充実した1年間であり、また、楽しい1年間でもありました。本局で仕事の話をしていても、「銭場さん楽しそうでいいですね」とよく言われます。私の40年近い公務員生活の中でも3本の指に入る楽しい仕事であると思います。

県庁の仕事の中には、嫌々ながらやらなくてはいけない仕事、県民から突き上げを食らうような仕事など胃がきりきりするような仕事がたくさんあります。

博物館の仕事は、基本的に県民に喜んでもらう仕事であり、感謝される仕事であります。

非常にやりがいのある仕事であり、それが充実感につながっているのだと思います。

宮川会長さんが「JUNO」の1月号で、博物館の実績は入館者数という数字で評価されると書いておられました。量より質だと言われる方もおりますが、例えば展示を例にすれば、すばらしい展示をしても誰も見にきてくれないのでは意味がありません。

我々公務員は、県民の貴重な税金で生活が成り立っています。我々は、仕事を通して県民にどう還元していくかと言うことをいつも考えている必要があります。

そのためには、中身の充実した展示を行うだけではなく、より多くの人々に見ていただく努力も必要だと言うことです。そういう意味でも入館者数のこだわりを持つことが重要であるわけです。

会長さんから入館者数を2倍、3倍にするご提言をいただきました。

また、博物館の業務の進展のため、県内の郷土史研究会とのネットワークを構築していただけるとのこと。

「博物館の応援団」を自認されている「友の会」に期待するところ大であります。

これからも多くの県民に親しまれる魅力ある博物館づくりに邁進してまいりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

友の会トピックス

1. 博物館の人事異動について <敬称略>

<退職>

◎大久根 茂 (資料調査・活用担当) 学芸主幹→自然の博物館企画・広報担当 専門員兼学芸員

<転出>

◎井上尚明 (学芸各担当) 副館長→自然の博物館 館長

◎鈴木秀雄 (企画・学習支援担当) 主席学芸主幹→さきたま史跡の博物館広報・学習支援、資料・展示、史跡整備担当 主席学芸主幹

◎利根川章彦 (学習支援担当) 学芸主幹→嵐山史跡の博物館学芸担当 学芸主幹

◎田中正夫 (資料調査・活用担当) 学芸主幹→さきたま史跡の博物館広報・学習支援担当 学芸主幹

◎渡 政和 (展示担当) 主任学芸員→嵐山史跡の博物館学芸担当 学芸主幹

◎芝崎 剛 (総務担当) 担当課長→福利課経理担当 主査

◎柴山珠枝 (総務担当) 主任→春日部特別支援学校 主任

◎根ヶ山泰史 (展示担当) 学芸員→生涯学習文化課文化財活用・博物館担当 主事

<転入>

◎杉崎茂樹 (学芸各担当) 副館長←生涯学習文化財課 副課長

◎田中裕子 (展示担当) 学芸主幹←生涯学習文化財課指定文化財保護担当 主幹

◎加藤光男 (展示担当) 学芸主幹←嵐山史跡の博物館学芸担当 学芸主幹

◎山本純二 (総務担当) 担当課長←福利課総務担当 主査

◎野本 仁 (資料調査・活用担当) 主任学芸員←生涯学習文化財課文化財活用・博物館担当 主査

◎渡辺良一 (総務担当) 主任←県立学校人事課高校改革推進担当 主任

◎財津花奈子 (企画担当) 主事←宮代特別支援学校 主事

◎佐藤香里 (資料調査・活用担当) 学芸員 新採用

◎両角まり (学習支援担当) 学芸員 臨時的任用

◎平山美由紀 (展示担当) 学芸員 臨時的任用

◎高橋恵美 (展示担当) 学芸員 臨時的任用

◎諸岡 勝 (展示担当) 主任専門員兼学芸員←文書館 副館長

◎岩本克昌 (資料調査・活用担当) 主任専門員兼学芸員←自然の博物館総務、企画・広報・自然担当 副館長

<館内配置換>

◎川上由美子 (企画・学習支援担当) 主席学芸主幹←展示・資料調査・活用担当 主席学芸主幹

◎杉山正司 (展示・資料調査・活用担当) 主席学芸主幹←展示担当 学芸主幹

◎西口正純 (学習支援担当) 学芸主幹←展示担当 学芸主幹

◎服部 武 (学習支援担当) 主任学芸員←展示担当 主任学芸員

◎佐藤美弥 (展示担当) 学芸員←資料調査・活用担当 学芸員

<昇任>

◎大明 敦 (展示担当) 学芸主幹←展示担当 主任学芸員

<臨任任期満了者>

◎内山美代子 (企画担当) 学芸員

◎東 可南子 (学習支援担当) 学芸員

◎森 瞳 (展示担当) 学芸員

<再任用任期満了者>

◎大和 修 (学習支援担当) 専門員兼学芸員

2. これからのイベント <☆印は申込み受付中・4月28日分は定員いっぱい近く、お申込み要急!〜>

- 4月28日(日) 友の会・博物館共催歴史講演会 「年輪年代学が古代史を変える」 ☆
講師：奈文研・光谷拓実先生
- 5月26日(日) 友の会・博物館共催歴史講演会 「仁徳天皇陵と百舌鳥古墳群の謎」 ☆
講師：元・読売新聞文化部記者・矢澤高太郎先生
- 6月 友の会・見学会 「中山道四宿を訪ねて〜碓氷峠・坂本宿・安中宿など」 <詳細未定>

3. 友の会・年次総会のお知らせ

上記5月26日(日)の講演会開催日の午前10時から、同じ講堂にて、友の会25年度総会を開催いたしますので、ぜひ、ご出席くださいますよう、お願い申し上げます。

4. 友の会・クラブ活動のお知らせ

◎鎌倉古道を考える会

- 定例会 毎月第3日曜日・午前中(9:30~11:30)に博物館講座室で〜飛び入り参加歓迎です
- 散策 7月に「赤羽〜鳩ヶ谷」、10月に「鳩ヶ谷〜東川口」、26年1月に「東川口〜尾ヶ崎」を予定
- ☆連絡先は犬走(いぬばしり)さん 048-756-5634

◎日本の祭り研究クラブ

- 5月4日(土) お祭り見学会「行田・埼玉古墳群でのさきたま火祭り」
集合：13時または16時 さきたま古墳公園はにわの館横 費用：博物館入館料等
参加自由
- 5月12日(日) お祭り見学会「寄居北条まつり」 雨天決行 =北条氏邦と豊臣勢との戦いの再現=
集合：9時 東上線・寄居駅改札出口 費用：歴史館入場料200円等
昼食各自用意 参加自由
- 7月20日(土) お祭り見学会「秩父川瀬祭」 雨天決行 =秩父に夏の到来を告げる暑いお祭り=
集合13時 秩父鉄道線・秩父駅改札出口 費用：交通費等 参加自由
14:30頃 神輿洗い 18時〜 山車曳行
- 8月3日(土) お祭り見学会「玉淀水天宮祭り」 <詳細未定>
☆連絡先は元木(もとぎ)さん 0493-54-0401 携帯090-2259-1673

◎映像クラブ

- 「日光御成道〜川口・鳩ヶ谷・大門宿編」を作成することを決定
- 5月には新緑や田植えなどの映像を撮影の予定
- 会の名称を「映像・写真クラブ」とし、静止画像愛好の方にもご参加を呼びかけることとしたい
- ☆連絡先は筑井(つくい)さん 090-1990-4807

5. 友の会サポーターの募集について

4月! スタートの季節です。あなたも、何か、新しいことをお始めになりませんか? 望まれているのは、友の会のサポーターとして、会を支えていただくことです。友の会の受付、ニュースの発送などのお手伝いをお願いできれば、ありがたいのです。詳細は土・日・祭に友の会の受付でお聞きください。

仁徳天皇陵と 百舌鳥古墳群の謎

あの、教科書にもものっている「仁徳天皇陵」が、仁徳天皇のものではないという説もあります。「百舌鳥（もず）古墳群」の天皇陵に葬られている仁徳、履中、反正の三人の天皇をどの古墳に当てはめていいのか～は史上最難解のパズルとも呼べるそうです。読売新聞の古代史専門記者であった講師は、その謎にどのように挑戦されるのでしょうか。

講師 元・読売新聞文化部記者 **矢澤高太郎先生**

とき 平成 25 年 5 月 26 日（日）

午後 1 時 30 分～3 時

ところ 埼玉県立歴史と民俗の博物館講堂

（東武野田線・大宮公園駅下車・5 分）

ご参加無料

ご参加のお申込みは、往復ハガキに住所・氏名・電話番号・会員の方は会員番号・講演会の名前をご記入のうえ、5月21日（火）までに〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。（裏面にご住所・お名前をご記入ください）

定員 150 名。オーバーの場合は先着順とし、その時点で締め切らせていただきます。

埼玉県立歴史と民俗の博物館

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

「わかりやすい展示」・「利用しやすい展示」を念頭に

副館長 杉崎茂樹

博物館友の会の皆様初めまして。4月に県庁の生涯学習文化財課から当博物館に異動してまいりました杉崎と申します。

考古学の学芸職として埼玉県に奉職し、生涯学習文化財課、さきたま史跡の博物館、(公財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団、国立歴史民俗博物館に勤務して参りましたが、当館は初めての勤務です。

生涯学習文化財課では文化財の指定や修理、埋蔵文化財の届出の処理や開発との調整、博物館の管理などを、さきたま史跡の博物館では国宝の金錯銘鉄剣を始めとした稲荷山古墳出土品の展示と管理、埼玉古墳群の整備のための発掘調査やその報告書作成を、(公財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団では都市整備公団の開発予定地内や県道建設予定地内の遺跡の発掘調査と報告書の作成にあたりました。そして、派遣期間は3年ほどでしたが千葉県佐倉市にある国立歴史民俗博物館では資料課の登録台帳係で博物館資料の出納や収集、館蔵資料のデータベースの作成なども経験させていただきました。一貫して考古学の専門性を発揮できる職場を経験できたことを、大変幸せに感じております。

さて今日、利用者数の増減で博物館の存在価値が評価される状況があります。博物館の「内側」から見れば「少子高齢化」や「予算の縮減」の状況下で前年の集客数を確保するだけでも博物館としてはかなりのエネルギーが必要なのですが、それは「外側」からは言い訳に聞こえるでしょう。

しかし、そんなことをぼやいていても始まりません。博物館としては各館の使命に則して、今以上に集客に結びつく、調査・研究の発現としての特別展、企画展を考え、観覧者にとってより「わかりやすい展示」の工夫は常に考えてゆく必要があります。常設展でも、学校などが郷土埼玉の歴史を理解するために、より「利用しやすい」展示をする工夫の余地があるのではないかと思います。

以上のようなことを念頭に、今までの経験を生かしながら、がんばりたいと思っておりますので、友の会の皆様には、あたたかいご指導とご助力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

友の会トピックス

1.もうひとつの「友の会の楽しみ方」ニクラブ活動ニ

○鎌倉古道探索クラブ

・同クラブは、これまでの「鎌倉古道を考える会」から上記の名称に変更されました。友の会の「クラブ活動」としての名称に統一をお願いしたものです。

・同クラブの次回のイベント

平成25年7月14日(日)

「向暑の鎌倉街道・中道を歩く」

集合・午前9時 JR赤羽駅北口改札前 ・赤羽駅→宝幢寺→荒川知水資料館→新荒川大橋→平柳蔵人居所跡→マスコー→鎌倉橋碑→川口本陣門跡→善光寺→錫杖寺→川口元郷駅

<解散>

ご案内・小谷野幸夫氏 参加費・資料代200円

少雨決行・台風時などの際の実施などについては、連絡いたします

水分不足にならないよう、各自が責任をもって水分補給を行なってください

会員限定ですが、ご家族、お友達もご参加可能ですので、事前にお問合せください

問い合わせ先 小谷野(こやの) 090-1992-3259

歩行距離は約7キロメートル 歩きやすい服装・靴でご参加ください

参加のお申込みは 7月2日(火)までに氏名・住所・会員番号・電話番号を明記し、〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-197-2 小谷野幸夫まで

・同クラブは4月14日には40名のご参加をえて、「香爛漫の鎌倉街道・中道を歩く」ニ尾ヶ崎から岩槻までニを歩かれたとのこと。

・同クラブ連絡先は犬走(いぬばしり)さん(048-756-5634)

○その他のクラブ

・映像・写真クラブ 連絡先は筑井(つくい)さん(090-1990-4807)

・日本の祭り研究クラブ 連絡先は元木(もとぎ)さん(090-2259-1673)

2.本年度の行事予定に追加しました

7月14日に上尾市へ民俗行事「どろいんきょ」を見学に行くことを決定しました。詳細はニュース次号等でお知らせいたしますので、ご期待ください。

3.総会にぜひ、ご出席ください

当会の年次総会は5月26日(日)午前10時から、博物館講堂をお借りして、行ないます。

友の会の団体としての活性化のためにも、ぜひ、あなたのご参加をお待ちしております。

4.博物館の65歳以上の方々の観覧料が、7月から変更ニ

これまで無料でしたが、7月からは一般の方と全く同じとなります。友の会会員の方は「特典」として、同伴者お一人までも無料となっています。この「特典」は会員の方々のために、まさに「リーズナブル」なものです。ぜひ、あなたのお友達にも、このさいのご入会をおすすめください。

友の会・総会議案について

総会では、下記のような収支報告書を含めた議案について、ご審議いただきます。特に「友の会」の財政状況につきましては、ご関心をお持ちいただいているところかと、思いますので、総会に先立ってご覧いただきます。おかげさまで、昨年度決算では10万円（会の会計からの支出は43,233円）を陸前高田市の古文書研究会へお送りしましたが、当期の収支残高は137,285円となり、前期からの繰越金979,969円とあわせ、次期繰越高は111万7,254円となっています。

その他の総会議案は、当日会場にて配布させていただきますので、ご了承ください。

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 平成24年度収支報告書

自 平成24年4月 1日
至 平成25年3月31日

収入の部			
項目	23年決算高	決算高	備考
年会費	794,000	908,000	資料-I
半年会費	28,000	25,000	資料-I
事業収入	1,478,829	1,979,018	資料-Ⅲ・Ⅳ
雑収入	59,689	86,966	
合計(ア)	2,360,418	2,998,984	
支出の部			
項目	23年決算高	決算高	備考
運営費関連			
会費	66,711	83,790	
旅費交通費	23,180	19,910	
備品・用品	224,973	156,075	
通信	468,235	488,290	
印刷	14,710	10,010	
手数料	1,005		
小計	798,814	758,075	
事業費関連			
講演会	355,939	301,376	
見学会	996,157	1,411,957	
イベント	578,911	215,871	
小計	1,931,007	1,929,204	資料-Ⅲ・Ⅳ
負担金	97,500	72,000	資料-II
震災義援金	100,000	100,420	
合計(イ)	2,925,321	2,858,699	
当期収支残高(ア-イ)	-564,903	137,285	(ウ)
前期繰越金	1,544,872	979,969	(エ)
前受金	760,000	832,000	(オ)
次期繰越高(ウ+エ)	979,969	1,117,254	(カ)

資金管理明細	
(25/3/31現在)	
預金残高	1,307,392
振込口座残高	548,180
現金	81,682
未収金	12,000
合計(オ+カ)	1,949,254

上記の通り平成24年度収支についてご報告いたします。

平成25年3月31日

会計

中村 均

上記報告書について、出納簿、領収書、収支決算書を厳正に会計監査を実施した結果過誤なく適正に執行された事を証します。

監事

青山 定輔

監事

平野 久雄



初夏・上州の中山道三宿めぐり

初夏の風吹く奇岩の山、妙義を眺めながら、中山道の三宿、安中・松井田・坂本を訪ね、いま、放映中の「八重の桜」の新島 襄の旧宅と安中教会も訪ねる楽しいツアーです。

◎見学先

- 安中宿 旧安中宿武家屋敷と郡奉行役宅 旧碓氷郡役所（「八重の桜」関連の展示あり） 新島 襄の旧宅と安中教会
- 松井田宿 群馬県指定史跡「五料茶屋本陣二棟」（お東とお西）
- 坂本宿 英泉の浮世絵、そのままの刎石（はねいし）山と坂本宿重要文化財「碓氷第3橋梁」（めがね橋）

実施日 平成25年6月15日（土）

集合 午前8時 <定刻厳守をお願いいたします>

JR大宮駅西口・大宮ソニックビル西側
(大宮帰着7時ころの予定)

参加費 6000円 <昼食は、あの「峠の釜飯セット」で>

ご参加のお申込みは～

☆5月31日（金）必着

☆往復ハガキに住所・氏名・会員番号・電話番号を明記

〒330-0841 さいたま市大宮区東町2-4 金子清敏へ

☆会員限定ですが、ご家族、お友達のご参加いただけます

☆座席についてのご希望、集合場所地図のご希望はハガキに追記ください。

☆当日緊急連絡先 090-6538-5935 金子清敏

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

平成25年6月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行 ☆330-0803 さいたま市大宮区高鼻町 4-219

「小島庄右衛門座像」との出会い

友の会会員（博物館展示解説ボランティア） 犬走東道（岩槻区）

私が当館の展示解説ボランティアとして、最初に解説が出来るようになったのは、江戸時代Ⅱと呼ばれる第八室についてです。この部屋の展示キーワードは「河川改修」「見沼代用水」「見沼通船堀」「河岸場」「黒船来航」「大政奉還」で、それぞれ自分なりに勉強しました。しかし、細かく見てみると、入口近くのガラスケースに入った「木造小島庄右衛門座像」に対する解説には自信がないことに気が付きました。そして、小島庄右衛門の人となりや、菩提寺のご住職から伺ってみようと思ひ立ち、早速、小流寺（春日部市）に連絡を取り、面談を約束しました。

1. 小島庄右衛門正重とは～

徳川家康は江戸に入城すると、伊奈忠次を関東郡代に任じ、治水計画を立てさせ、その実施を命じました。忠次は武蔵国を流れて東京湾に注いでいた利根川を下総・常陸を経て太平洋に注ぐようにする工事を推進しました。この利根川の東遷工事は文禄3年（1594）に始まり、承応3年（1654）に終わるといふ60年の歳月を要し、伊奈家四代（忠次、忠政、忠治、忠克）にわたる苦心の大工事となりました。江戸川の開削は、この利根川の河道変更の一環として行なわれました。渡良瀬川の下流庄内川（現庄内古川）は河道が曲流が多く、しばしば氾濫し、付近の住民を苦しめていたのです。この状況を見て、氾濫を防ぎ、住民を救おうとしたのが、時の関東郡代の伊奈忠治とその親戚筋で庄内地方の代官でもある小島庄右衛門（1588～1668）です。小島庄右衛門正重は、この工事の責任者となり、寛永12年（1635）から約9年の歳月をついやして、関宿より宝珠花に至る20kmの水路を新たに開削し、金杉の下手で従来の庄内川に合流させ、沿岸付近の悪水を除くとともに、舟航の便を図りました。この開削竣工後、正重は沿岸に寺を建立、小島山小流寺と名付けました。正重こそ近世庄内町開発の大恩人なのです。

2. 小流寺訪問

5月22日 天候 雨 あいにくの天気でしたが、小流寺に向かいました。アポイントを事前にとっておいた為、第14代ご住職である秀済法師が自ら雨の中、小島庄右衛門正重の墓と碑（埼玉県指定史跡）の丁寧な説明をしてくださいました。更に本堂内に移動し、木造の「小島庄右衛門座像」および「小流寺縁起（春日部市有形文化財）」について、懇切丁寧な説明を受けました。

3. 個人的印象

当館に展示されている「小島庄右衛門座像」は、丹頂、道服をまとい、右手に数珠を持ち、晩年の正重の姿を映したものと伝えられています。しかし、どちらかというガラスケースの中で無機質な、印象の薄い像でしたが、実物は妙に血色の良い男を感じさせる像で、フツフツと鳥肌のたつ程の感動を味わいました。さすがに江戸中橋伝間町の名大仏師・広瀬十助の作と伝わるだけのことはあると納得いたしました。

追記 利根川の東遷工事、伊奈忠次、小島庄右衛門の事跡は、当館の第八室に展示。小流寺のアクセスは東武野田線春日部駅からバス25分。問い合わせ先＝春日部市役所文化財保護課 048-763-2449

友の会ヒックス

1.今年度も、友の会会員限定講座にご期待ください

博物館のご協力を得て、7月から始め、次のようなテーマで、年間8回、実施の予定です。

○埼玉の人物「川村碩布・戸賀崎知道軒」 ○「絵で語る埼玉の民話」 ○「円空仏」

—○「狩野派と橋本雅邦」 ○埼玉の人物「鹿見島寿藏・下総院一」

○近代美術館のコレクションから ○「關東道の遺跡」 ○「屋根裏部屋の博物館」

早急に、全体のスケジュールを決定し、お知らせいたします。ご期待ください。

2.埼玉県社会教育委員会会議の建議に、取り上げていただきました

5月23日、社会教育委員会会議（議長・東京国際大学・遠藤克弥副学長）から、県教育委員会（清水松代委員長）へ建議が手渡されました。その中の「あらゆる世代が参加しやすい地域づくり～「学びの循環」の実践のために～」の項目に、「退職した世代の参加事例」として、当友の会が取り上げられました。

3.江戸里神楽公演についてのご協力を！

同封のチラシの通り行なわれます江戸里神楽公演について、例年通りのご協力、ご支援をお願いいたします。「昼公演」は満席寸前と大丈夫なので、「夜公演」の方に来ていただきたい～とのことです。

地道に、毎年、活動されているのは「江戸里神楽公演学生実行委員会」の皆さまのご努力に敬意を払って、上記のご依頼を聞いてあげたいと思います。よろしく、お願いいたします。

4.荒木敏夫先生の講演会にも、ご協力を！

こちらも同封させていただきました、専修大学・荒木敏夫先生の講演会です。荒木先生は以前、当会もご講演にお招きしています。（H23.12.11 講演会「日本古代王権と災害」）

敬文舎さん主催の講演会は、事前申込みが必要ですが、当日の受付で「埼玉県立歴史と民俗の博物館の友の会」の会員です～とお名乗りいただくと、聴講料2000円のところが、1800円になります。

お時間、ご興味のある方々はご出席ください。

5.クラブからのご案内

☆古道探検クラブ

イベント「鎌倉街道・中道を歩く」の第2弾、（岩淵～元郷）の参加者募集中です。今回は岩淵から元郷の全行程を知識豊富な小谷野さんの解説で歩きます。実施日は、平成25年7月14日（日）。集合はJR赤羽駅北口改札前。ご期待ください。

○集合時間は厳守。水分補給は各自ご注意ください。○大雨の場合は中止 ○このイベントの問い合わせは 090-1992-3259 小谷野さん。○連絡先は犬走（いぬばしり）さん 048-756-5634

☆映像・写真クラブ

「日光御成道一川口・鳩ヶ谷・大門宿編」を制作中。5月の連休期間と6月初旬の撮影予定はすべて好天に恵まれ終了。構成願につないで、全員で内容を見る機会を作り、必要なシーンの追加撮影を考えます。

その他の活動や会合は、早くても、7月中旬になります。○連絡先は筑井（つくい）さん 090-1990-4807

☆日本のお祭り研究クラブ

7月20日（土）「秩父川瀬祭」＝秩父に夏の到来を告げる暑いお祭り＝雨天決行。集合13時 秩父鉄道線・秩父駅改札出口。費用：交通費等 14:30頃 神輿洗い 18時～山車えい航 参加自由

○連絡先は元木（もとぎ）さん 0493-54-0401 携帯090-2259-1673

平成 25 年 5 月 26 日開催の当会総会において、前年度決算額の箇所に戻りがございました。予算額においては、総会議案書の変更はありませんが、説明資料としての前年度決算額について、下記のとおり、訂正をさせていただきますので、ご了承をお願いいたします。

平成 25 年 度 収 支 予 算

収入の部

項目	金額	前年度決算額	記 事
年会費			
当年度会費	244.000	171.000	144名(2.000×100名+1.000×44名) 416名
前受金より	832.000	760.000	
小計	1.076.000	931.000	
事業収入			
講演会・イベント	0	249.018	8.200×250名+多賀城ツアー65.000×30名
見学会	3.500.000	1.730.000	
小計	3.500.000	1.979.018	
雑収入	10.000	86.966	
前期繰越金	1.117.254	979.969	
当期収入合計	5.703.254	3.976.953	(A)

支出の部

運営関連費				
会議費	85.000	83.790	スキャナー付きプリンター購入	
旅費交通費	50.000	19.910		
備品・用品	200.000	156.075		
通信費	540.000	488.290		
印刷費	10.000	10.010		
手数料	0	0		
交際費	10.000	0		
小計	895.000	758.075		
事業関連費				
講演会	350.000	301.376		65歳以上・優遇なしの影響
見学会	3.000.000	1.411.957		
イベント	0	215.871		
小計	3.350.000	1.929.204		
負担金	300.000	72.000		
震災義援金	0	100.420		
当期支出合計	4.545.000	2.859.699	(B)	
当期収支残高 (A-B)	1.158.254	1.117.254		
次期繰越金	1.158.254	1.117.254		

項目間の流用を認めるものとする

どろいんきよ 上尾・平方

白木の神輿を泥だらけにして転がす。神輿を担ぐ人も見学する人も泥だらけ。そうでなければ疫病神は退散してくれません！

この祭りはいわゆる祇園祭で、いんきよ様と呼ばれる神輿を民家の庭で、泥だらけにして引き廻すのです。前講座（まえこうざ）の講師は内田主任学芸員。内田さんは「どろいんきよ」が県指定無形文化財に指定された時、調査に携わった方です。その時のお話をたっぷりとお聞きしたいと思います。

●「どろいんきよ」見学

- ◎日 時 平成25年7月14日(日) 雨天決行
午後1時～3時30分頃 昼食は各自、用意してください
- ◎集 合 上尾駅改札前 午前11時30分出発
- ◎コース 上尾駅西口(当日は上尾祭りでバス俵が移動)～(東武バス・約30分)
～平方～八枝神社～神酒所5班～7班～(解散)
- ◎服 装 汚れてもよい服装でお越しください(洗っても泥が落ちません)

●前 講 座

- ◎日 時 平成25年7月11日(木) 午後1時30分
- ◎場 所 博物館講座室
- ◎講 師 博物館主任学芸員 内田幸彦氏

●ご参加お申し込み

- ◎ハガキに住所・氏名・電話番号(携帯番号)・会員番号・イベント名(見学会、前講座)を記入し、7月7日(日)までに
〒337-0042 さいたま市見沼区南中野1183-10 齊藤文孝へ。
見学会、前講座のみの参加も可。
会員限定ですが、ご家族・お友達はご参加可。
ご返事はいたしません、お申込みいただいた方はご参加いただけます。
- ◎費 用 500円(資料代)+バス代(片道280円)前講座は無料
- ◎当日・緊急のご連絡は 090-4965-8275 齊藤まで

平成25年7月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行 ☆330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219

企画展「絵で語る埼玉の民話—池原昭治・童絵の世界—」

展示担当学芸主幹 大明 敦

みなさんは、埼玉の民話というと、どのようなものをイメージされるでしょうか？キツネに化かされた話、河童の話、天狗の話、お地蔵さんの話、大きな山を作った伝説の巨人・ダイダラポッチなど、埼玉県内にはさまざまな話が語り伝えられています。

今回の企画展では、テレビアニメ『まんが日本昔ばなし』の制作者としても知られる狭山市在住の池原昭治先生が、40年以上にわたって描き続けてこられた「童絵^{どうえ}(注)」とよばれる作品の中から、県内の民話をテーマにしたものの原画約100点を「自然のはなし」「人間のはなし」「神や仏のはなし」「動物と妖怪のはなし」などのコーナーに分けて展示します。また、会場内には、池原先生の作品の中に描かれた子どもの遊び道具を展示したコーナーや、セル画や絵コンテといった『まんが日本昔ばなし』の制作に関連した資料の展示コーナーも設けてあります。

かつては、老人から子や孫へと何世代にもわたって語り継がれてきた民話も、近年ではテレビの普及や核家族化など社会の変化によって実際に聞く機会はほとんどなくなってしまいました。しかし、池原先生の作品には、まさに絵で語るかのように民話の世界が豊かに表現されています。どうぞ、耳をかたむけて絵の中の人物の会話や前後の場面などを想像しながら作品をごらんになってください。きっと、民話の世界を身近なものとして感じていただけることと思います。

さらに企画展の会期に合わせ、季節展示室でも「埼玉の風景 —池原昭治・童絵の世界—」と題して、池原昭治先生が県内各地の自然景観や町並み、祭り・行事などさまざまな風景を描いた作品の展示も行っております。この夏は両方合わせて、池原昭治先生の作品の世界を存分にお楽しみください。

(注) 池原昭治先生が自身の絵の世界を表現した言葉。民話、祭り、子どもの伝承遊び、後世に伝えたい風景などをテーマにし、ほとんどの絵の中にはおなじみの童(わらべ)の姿が描かれています。

1.ミニ講座からプレミアム講座へ

今年度から、これまでの『会員限定ミニ講座』を「会員限定プレミアム講座」と改称しました。とても「ミニ」とは言いがたい内容になっているからです。20人ほどの会員が先生をかこんで、ひそひそとお話をおうかがいする講座をイメージしていましたが、100人近い方々にご参集いただき、お話しレベルの高いものとなっているという状況では「ミニ」ではなく、「プレミアム」の名の方がふさわしいと、改称させていただくこととなりました。

これからも「プレミアム」の名前が維持できるよう、あなたのご支援をよろしく、お願いいたします。

2.これからのイベント

○7月14日(日) 友の会見学会「上尾・平方のどろいんきょ」雨天決行 11時半 上尾駅改札前集合。参加費500円(資料代)+バス代280円(片道)

7月7日(日) 申込み締切につき、ご参加希望される方は090-4965-8275 斎藤さんへ問い合わせを。

○7月20日(土) 博物館歴史民俗講座「埼玉の伝説」 講師：大明 敦さん

1時半～3時 博物館講堂 申込みは博物館へ 048-645-8171 定員150

○7月25日(木) 友の会プレミアム講座「川村碩布・戸賀崎知道軒」 1時半 博物館講堂

詳細は本紙4ページ [参加申込み受付中](#)

○8月(日時未定) 発掘展見学会 恒例の、昨年度、県内で発掘された遺物が行田市・さきたま史跡の博物館で展示されます。これを見学がてら、周辺の史跡を訪ねています。

詳細未定ですが、ご期待ください。

○8月29日(木) 友の会プレミアム講座「企画展・絵で語る埼玉の民話」 講師：大明 敦さん

1時半 博物館講堂 [参加申込みは本紙次号で詳細発表後](#)

3.江戸里神楽公演についてのご協力を！

本紙前号に同封のチラシの通り行なわれます江戸里神楽公演について、例年通りのご協力、ご支援をお願いいたします。今回は坂戸市住吉神楽保存会の公演です。本物の神楽が、落ち着いた会場で、ゆっくり見られる得難い機会です。

友の会の会員には、「夜公演」の方に来ていただきたい～とのことです。

夜公演は午後4時45分開場、5時半～8時まで。埼京線与野本町西口下車7分の「さいたま芸術劇場小ホール」 予約鑑賞券は1000円。申込み・問い合わせは090-9953-0299 里神楽学生実行委員会。

4.ご注意ください！ 65歳以上の方の観覧料の制度がわかりました

7月1日から、県の条例改正で65歳以上の観覧料が一般の方と同額となりました。

これまでは無料でしたが、すべて「有料」となります。

ただし、友の会の会員証をご提示されますと、これまでどおり、無料でご観覧いただけます。また、同伴者1名も無料となります。

ぜひ、友の会会員の特典をご利用くださることをおすすめいたします。

<博物館へお越しになるときは、友の会会員証をお忘れなく！！>

友の会クラブからのお便り

☆映像・写真クラブ

6月30日の午前中、「御成道—川口・鳩ヶ谷・大門編」の最後を撮影しようと、東武線七里駅に4人（中村、西本、上田、筑井）が集合して、宮ヶ塔の道標（読めませんが、江戸道・岩槻道・慈恩寺道・原市道・川口善光寺道と刻まれているそうです）付近から水田風景を撮影し、深作川と綾瀬川合流点の箕子橋を渡り、岩槻大橋まで歩きました。

この岩槻大橋は、前作「岩槻編」の撮影を開始した懐かしい場所です。あの時と同様に、近くにあった築局にも立ち寄り、またまた健康剤入りの冷たいお茶をいただきました。あとは街道を歩きながら駅へ。撮影は2年間余り前のことですが、街道は歩道の整備が終わったようで「御成道市宿通り」という共通看板がいくつか目に付きました。あの映画も日光御成道の振興に一役かっただけでしょうか。今回の撮影回数は2人以上参加で合計8回になりました。

次回の会合は7月21日（日）午後6時から、シーノ大宮5階（桜木公民館）講座室1です。

これまでのデータをもとにして、編集第1案を筑井が作成します。これを上映しながら、内容の確認、不足している箇所などを話し合います。どなたもご参加ください。

☆日本のお祭り研究クラブ

7月20日（土） 「秩父川瀬祭」＝秩父に夏の到来を告げる暑いお祭り＝ 雨天決行。集合13時 秩父鉄道線・秩父駅改札出口。費用：交通費等 14：30頃 神輿洗い 18時～山車えい行 参加自由
○連絡先は元木（もとき）さん 0493-54-0401 携帯090-2259-1673

☆古道探索クラブ

7月14日（日） 「鎌倉街道・中道を歩く」第2弾、（岩槻～元郷）を予定しています。すでに3日で申込み締切となっていますが、参加希望の方は090-1992-3259 小谷野さんへお問合せください。集合はJR赤羽駅北口改札前。大雨のときは中止。水分補給は各自、ご注意ください。
（午前 9:00）

友の会・無償ボランティア求人欄

◎サポーターさん募集

○博物館ロビーでの友の会の受付、「JUNO」の発送などが主なお仕事。内容については、土日祭に友の会のカウンターにいる担当者に詳細おたずねください。受付当番は2ヶ月に1回くらいです。

◎パソコンできる方

○会員名簿作成などをお願いできる方を求めています。ワードとエクセルが普通に出来る方を希望しています。博物館へ来て、申し込み書などを見ていただく必要はありますが、打ち込みはご自宅で可能です。

◎クラブ活動立ち上げ人

○上記のとおり、現在、友の会のクラブ活動は三つが立ち上がっていますが、もっともっと、増えてほしいのです。遺跡見学、古墳めぐり、県内寺院・神社めぐり～など、さらに多くのクラブが立ち上がるのが望まれます。その音頭取りになっていただく方を募集しています。趣味を同じくする方を集め、イベントを行なうことに、友の会は全面的にご協力させていただきます。同好の士のために、一肌脱いでいただくことも社会貢献のひとつではないでしょうか。

＜サポーターさんにご関心をお持ちの方は直接、土日祭に友の会・受付カウンターへ。パソコンできる方、クラブ活動立ち上げ人志望の方は048-975-9139 宮川まで、お問合せください＞

埼玉の人物

川村碩布

現・毛呂山町の代々名主の家に生まれ、俳諧を江戸の春秋庵白雄に学んだ。その後、春秋庵を継承し、弟子を指導した。天保14（1843）年に94歳で没。「名月のひと夜にきざむ仏哉」など。

戸賀崎知道軒

現・久喜市に生まれ、16歳のとき、剣道・神道無念流の祖・福井嘉平（兵右衛門）に入門、21歳で免許皆伝。二代目宗家となる。天明3（1783）年、大橋富吉という農民出身の男が牛込肴町の行元寺前で親の仇を討ち取ったとき、知道軒の門人らが助太刀をしたことが美談となって、道場は脚光をあびることとなった。

埼玉の生んだ二人の人物のお話が、会員の方だけ、おききいただけます。いままで、知らないない名前のヒトも、この埼玉で育ったことを聞けば、なんとなく親しみが生まれます。はたして、どういうヒトなのでしょう？

お話 加藤光男さん <当館展示担当 かわむら せき ぶ のお話>

諸岡勝さん <当館展示担当 とがさき ちどうけん のお話>

日時 平成25年7月25日(木)

午後1時半～3時

場所 博物館・講堂<当日は展示室へ入るため会員証をご持参ください>

<聴講無料・ご参加のお申込みは、通常ハガキにイベント名・住所・氏名・電話番号・会員番号を明記し、7月20日（土）までに〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町 4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。返信はいたしません。お申込みされれば、ご参加いただけます。ご家族、お友達にご参加いただけます。>

平成25年8月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行 ☆330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219

私 と 能 面 と 能

理事 長 島 勇 (荒川区)

能面ブームと言われて久しい。今では大勢の愛好家が能面教室などで制作に励んでいる。

プロの面打ち師と言われる人たちも大半は教室を持ち、作り方を教えている。そうしたグループの発表会的な展覧会が非常に多く、私も半年で15~6カ所、拝見している。その他、観世宗家、三井所蔵品、根来寺等の古面の展覧会にも、愛好家が勉強のために詰めかけている。

能面の需要は少なく、能面を舞台で使ってくれる各流派の能楽師の注文で制作したり、修復したりしている方はごく一部であって、いま能面作りの世界を支えているのは、自分の趣味で制作している愛好家と言われる人たちであると思われる。

面制作は、本面と言われる室町~桃山期くらいまでに作られた面を手本として、それにどれだけ近づけることができるか、研究されてきた。要するに模倣である。しかし、本面を手元に置いて写すことは不可能なことで、普通、教室などでは、その会の主宰者の作った見本を観て、その型を真似することに終始する。

このため、自分の作っている面が、どんな曲、どんな場面に使用されるかを知らずにいることが多くある。

能面が活発に創作されたのは、南北朝~室町中期で、能が一大飛躍を遂げ、新作が相次ぎ、それと呼応して役柄・曲柄にふさわしい能面が創作された。

室町後期~桃山時代にかけては能面の完成期と言われ、数々の名作が作られている。様式も完成し、種類も出そろった時期である。江戸時代に入り、武家の式楽として権力と結びつき、沢山の需要をまかなうために、世襲の面打ち師が出るが、創作活動は停止し、もっぱら模倣の時代に入り、今日に到っている。

最近、よく能を観る。能を知らずに能面を打つことなど出来ないと考え、能楽堂に通い始めたが、初めのうちは、謡の言葉も聞き取れず、様式化された所作や約束事が理解できず、それでも囃子方のリズムに合わせ、いつの間にか、見所(けんじょ)の雰囲気にはひたりきっていた。

その後、観世のシテ方のレクチャーを受けたり、ワークショップという普及の催しに参加したり、解説書や謡本を事前に読むなどして理解につとめているが、歌舞伎など説明の多い演劇とは異なり、省略の芸術といわれる舞台を理解するのは、まだまだのようである。

先日、卒塔婆小町と石橋を見る機会があった。卒塔婆小町は100歳の老いた小野小町が、竹杖を持ち女笠を着けて橋がかりを出てくる。面は老女小町を使用。そこには老残を見せる、かつての美女の高慢な性格と世を諦観する物静かな雰囲気、中入り後の物狂に耐える激しさを合わせ表現することが求められる。

石橋は半能(はんのう)で演じられた。白頭・赤頭の2頭の獅子の舞では獅子口と小獅子の面を使う。2頭の舞は歌舞伎の連獅子のもとになるもので、動きの激しい勇壮な舞である。面には金泥を施し、歯・目に金具を使用した激しい獅子の表情の中に、文殊菩薩に仕え、牡丹の花に戯れる優しい表情も求められる。

矛盾する、複雑な表情の表現が能面の制作の難しさと思う。今、取り組んでいる小面も沢山の表情と位を持たねばならない面である。そして、その中に自分の個性を盛り込んだ作品にしてみたいと思っている。

友の会トピックス

1. これからのイベント予定

- ◎8月28日(水) 見学会「出土品展と気になる古墳と発掘現場」 詳細は本紙4ページ
- ◎8月29日(木) 友の会プレミアム講座「企画展・絵で語る埼玉の民話」 詳細は本紙3ページ
- ◎10月19日(土) 見学会「秋の古河・久喜」(仮題)
～古河公方・足利氏と関東管領・上杉氏の争いの土地である古河と久喜を訪ねる見学会です。古河歴史博物館、鷹見泉石記念館、足利政氏の菩提寺・甘棠院、鷲宮神社など、見どころいっぱい！
- ◎10月(詳細未定) 友の会プレミアム講座「円空仏」(仮題)
- ◎11月16日(土) 見学会「平将門の残した遺跡」(仮題)
～京都に対抗して、「新皇」を自称し、東国独立を標榜した将門は、いまでも関東人の心のなかに英雄として生きているのです。茨城県に、その遺跡を訪ねてみましょう！
- ◎11月(詳細未定) 友の会プレミアム講座「狩野派と橋本雅邦」(仮題)

<9月に予定しておりました東北・多賀城・史跡見学会は、仙台市のホテルがとれず、延期させていただきます。ご了承ください>

2. クラブの活動情報

◎古道探索クラブ =連絡先・犬走(いぬばしり)さん=048-756-5634

☆「秋冷の鎌倉街道・中道を歩く」

10月13日(日) 集合=午前9時・埼玉高速鉄道・川口元郷駅2番出口前

コース=川口元郷駅～十二月田交差点～旧田中家住宅～薬林寺～氷川神社めぐり(朝日・鎮守・上青木)～スキップシティ<昼食>～宗信寺～真光寺～法福寺～鳩ヶ谷駅(15時解散予定・歩行距離8～9キロ)

案内～小谷野幸夫氏

参加費：資料代等300円+旧田中家入館料200円

問合わせ先：小谷野 090-1992-3259

参加申込み：10月1日(火)までに住所・氏名・会員番号・電話番号(携帯・自宅とも)を明記し、〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-197-2 小谷野幸夫へ

◎映像・写真クラブ =連絡先・筑井(つくい)さん=090-1990-4807

☆「御成道―川口・鳩ヶ谷・大門編」の編集中。

公開は9月以降の予定。ご期待ください。

◎日本のお祭り研究クラブ =連絡先・元木(もとぎ)さん=0493-54-0401

☆次回のイベントは11月3日(日)の「毛呂山町出雲伊波比神社の流鏝馬」見学です。詳細は追ってお知らせいたします。

3. ボランティア・人材・募集中

前号で募集させていただきました「求人」には、パソコンの出来る方が手をあげていただきました。今回は当会の「ブログ」についてのお手伝いをしていただける方を募集いたします。手をあげていただける方は048-975-9139・090-4139-2740 宮川まで <お問合せも>。

企画展

「絵で語る埼玉の民話」

について

今回、開催中の企画展「絵で語る埼玉の民話—池原昭治・童絵の世界—」(9月1日(火)まで)に関連し、ご担当の大明 敦さんに、池原昭治さんの描かれた絵、100点のなかの約30点について、それぞれの作品の世界、登場人物の会話などまで、ふくらませてお話をし、いただきます。

展覧会で、さっと見流してしまうには惜しい絵を、ここまで、理解しておきたいものです。

埼玉県内に伝わる民話が、池原さんの絵と、大明さんのお話で、あなたの心に焼き付けられます。
楽しいひとときをおすごしください。

お 話 大明 敦さん (当館展示担当 学芸主幹)

平成25年8月29日(木) 午後1時半～

場 所 博物館・講堂

(当日、この企画展を観覧ご希望のときは会員証をお持ちください。また、この講座のレジュメとしては、企画展ブックレット(200円)を、使用させていただきますので、ご購入ください)

聴講無料・会員限定です・ご家族、
お友達はご参加いただけます。

ご参加のお申込みは、通常ハガキにイベント名・住所・氏名・電話番号・会員番号を明記し、8月24日(土)までに、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。返信はいたしません。お申込みいただければ、ご参加いただけます。

出土品展と気になる古墳と発掘現場

☆恒例の「最新出土品展」～昨年、県内の発掘調査で発見された、貴重な出土品が行田市・「さきたま史跡の博物館」で、紹介されます。

- 本庄市薬師堂遺跡出土のくガラス小玉を作るときの鋳型>
- 加須市長竹遺跡出土のく土偶や人面土器>
- さいたま市氷川神社遺跡出土のく縄文後・晩期遺物> など

☆その他、次の古墳や発掘現場を時間の許す限り、見学する予定です。

◎埼玉古墳群周辺の気になる古墳

- ・戸場口山(とばくちやま)古墳あと(埼玉古墳群で一番最後に造られた方墳・駒宮さんが発掘を担当)
- ・八幡山古墳(明日香の石舞台古墳に対する、関東の「石舞台」といわれ、巨大な石室に入れる)

◎加須市・久喜市の発掘現場

- ・加須市・宮東遺跡(旧河川と水場の祭祀跡)・久喜市・栗橋宿本陣遺跡(本陣と番士館跡)・久喜市・小林八束遺跡(マウンドが残る方形周溝墓、木製農工具が多数出土)

案内講師 駒宮史朗先生(元・埼玉県立博物館学芸部長)

実施日 平成25年8月28日(水)

集合 午前8時・大宮駅西口 ソニックビル西側

午前9時半・熊谷駅南口 ローター

参加費 6,000円(バス代・昼食代等)

お申込み 8月24日(土)までに、往復ハガキに、住所・氏名・電話番号・会員番号を明記し、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。☆会員限定ですが、ご家族・お友達のご参加可。バスの座席のご希望、集合場所地図ご希望などはハガキにご記入ください。お申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

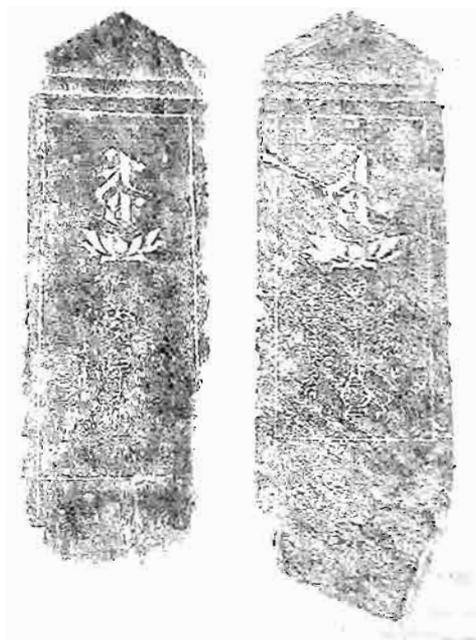
板碑に刻まれた年号

展示担当 主任専門員兼学芸員 諸岡 勝

年号(元号)は、『応仁の乱』、『安政の大獄』、『明治維新』など戦乱や事件を示す歴史用語として広く使用され、また『大正生まれ』、『昭和生まれ』のように世代をあらわす言葉として、私たちに大変馴染み深いものです。この年号は、中国の漢の武帝(紀元前140年)のころに確立した紀元法であり、日本では大化元年(645)が始まりとされ、平成にいたるまで247(南北朝時代の南朝年号も含む)を数えます。年号の存続については、いろいろ議論があるようですが、現在でも使用している国は日本だけです。

ところで明治以前の年号は、天皇の即位をはじめ、地震、風水害、飢饉などの天変地異や兵乱によるものの他に、干支の組み合わせで「辛酉」と「甲子」の年は改元が行われていました。とくに板碑や宝篋印塔、五輪塔などの石塔が造られた鎌倉時代から戦国時代の四百年あまりは、平均すると4年に一度の割合で目まぐるしく代わりました。通常、改元にあたっては京都の朝廷から時の幕府に伝えられ、所定の手続きを経た上で新しい年号が使われました。今と違って情報伝達手段の乏しかった時代ですから、新年号の普及は一か月あまりかかるとされ、さらに村の隅々まで行き渡るのに、三か月程度を要したと考えられます。

ここに取り上げた2基は、比企郡小川町所在の板碑です。①はかつて小生も発掘調査に参加した角山の一ノ入遺跡から出土した「貞治七年十一月廿六日」の板碑、②は角山からほど近い上横田にある「応安元年五月一日」の板碑で、いずれも阿弥陀一尊種子を本尊にしています。年号は異なりますが、どちらも西暦1368年で南北朝時代の北朝が使用した年号です。この時は貞治7年2月18日に疫病や天変地異を理由に「貞治」から「応安」に改元されました。①は9か月を経たにも拘わらず旧年号の貞治を使用したことになり、②は改元を知ってから早速、新年号の「応安」を用いています。このように改元のあった年の石塔類をみると、同じ年に新旧二つの年号が錯綜して存在することがよくあります。石塔と年号に関わる話はいろいろありますが、どうしてそうなったのか、理由を考えるのも石塔を研究する小生にとっては楽しみ(悩み)の一つでもあります。



② 応安

① 貞治

友の会とびっくす

1.今後の友の会・博物館のイベント

◎ 9月21日(土) 博物館歴史民俗講座「板碑の成立と武蔵武士」講師：博物館・諸岡 勝氏

1時半～3時 当館講堂 無料 電話申込み要 048-645-8171

板碑研究のスペシャリストである諸岡さんの板碑造立の理由、地域性、歴史的背景などについてのお話です。板碑について、最新、最高の知識が得られます。

◎10月3日(木) 友の会プレミアム講座「円空仏」 講師：博物館・池田伸子氏

ニュース別ページ詳報

◎10月12日(土)～11月24日(日) 博物館特別展「狩野派と橋本雅邦」

◎10月19日(土) 友の会見学会「古河公方足利氏ゆかりの地・古河、久喜」 ニュース別ページ詳報

☆11月2日(土) 友の会講演会「岩佐又兵衛・浮世絵始祖説の再検討」

講師：前・板橋区立美術館館長・安村敏信氏 1時半～3時 当館講堂 無料

☆11月7日(木) 友の会講演会「平将門の乱とその後」

講師：歴史研究家・文芸評論家・染谷 洸氏 1時半～3時 当館講堂 無料

☆11月16日(土) 友の会見学会「茨城の将門史跡めぐり」

☆12月1日(日) 友の会講演会「知らなかった『富士講』の謎と埼玉」

講師：富士信仰研究会・中島信彰氏 1時半～3時 当館講堂 無料

《ご注意！ ☆印のイベントの参加お申込みはこのニュースで詳細を発表してからに、お願いいたします。
それ以前のお申込みは、無効とさせていただきます》

2.友の会年会費(来年3月末まで有効)が例年通り、1000円となりました。あなたのお友達に、お気軽に友の会をお試しいただけるチャンス。ぜひ、お友達に一声をおかけください。楽しい、友の会のイベントがお友達と一緒なら、さらに楽しくなります。お申込みは土日祝に博物館ロビーの友の会受付へ。

3.友の会のホームページ維持のお手伝いをしていただけの方を探しています。パソコンが打てる方、大歓迎です。具体的なことについては、ホームページ「junosaitama」の連絡欄でご連絡ください。

円空仏

講師 池田伸子さん（当館展示担当 主任学芸員）

平成25年10月3日（木）午後1時30分から

場所 博物館・講堂

常設展第4室（美術展示室）では、10月6日（日）まで、県内に所在する円空仏34体が展示されています。

これだけの円空仏を一度に目にできる機会は、なかなかありません。

円空仏は、近年、ブームといわれるほど、人気が高まっています。

埼玉県で所在がわかっている円空仏は現在約170体。

愛知、岐阜について多い数です。

日光へ行く道すがら、仏を彫ったという円空。

その足跡をたどり、展示されている円空仏について、お話をいただきます。

会員限定・ご参加無料です。（ご家族、お友達のご参加いただけます）

ご参加のお申込みは、通常ハガキにイベント名、住所、氏名、電話番号、会員番号を明記し、9月28日（土）までに、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。

返信はいたしません。お申込みいただければ、ご参加いただけます。

（当日、この展示をごらんになる方は、当会の会員証をご持参ください。65歳以上の方は同伴の方1名も無料となります）

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

～古河公方足利氏ゆかりの地～

秋の古河・久喜を訪ねる!

●戦乱に明け暮れた室町時代、関東の地では古河公方足利氏と関東管領上杉氏と争い、関東一円は戦火にまみれた。今回は足利政氏の菩提寺である甘棠院の住職のお話しなど、歴史好きにはたまらない趣向で古河公方ゆかりの地を訪れてみたい。

●さらに、利根川スーパー堤防の下に埋もれてしまう栗橋宿・関所跡発掘現場を訪れ、往年の賑わいをしっかりと眼に焼き付けておこう。

●知っているようで案外知らない、地元埼玉をディープに掘り下げよう!

◎見学コース

古河歴史博物館・鷹見泉石記念館(解説・学芸員)＝長谷寺＝正定寺＝昼食＝栗橋宿・関所発掘現場・八坂神社(解説・栗橋郷土史研究会)＝甘棠院(ご住職のお話)＝久喜市立郷土資料館(解説・学芸員)＝鷲宮神社

日時 平成25年10月19日(土)

集合 午前8時 出発

JR 大宮駅西口・大宮ソニックビル西側

午前8時45分～9時 久喜駅西口バスターミナル

(ご希望の方はハガキに明記してください)

参加費 6000円 (昼食は麦とろ御膳。米飯希望の方は予めお申し出ください)

◆ご参加のお申込みは～

☆10月12日(土) 必着

☆往復はがきに住所・氏名・会員番号・電話番号を明記

〒331-0801 さいたま市北区今羽町477-12-12-404

橋本九二男 宛へ

☆定員45名、先着順とさせていただきます

(満席になり次第締め切らせていただきます。観光シーズンのためバスの増便ができません。)

☆会員限定ですが、ご家族、お友達のご参加いただけます

☆座席のご希望、集合場所地図のご希望はハガキに明記して下さい。

☆当日緊急連絡先 090-4965-8275 斉藤まで